

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 8 月 23 日 (2007.8.23)

【公表番号】特表 2007-502145 (P2007-502145A)
 【公表日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-005
 【出願番号】特願 2006-523186 (P2006-523186)
 【国際特許分類】

A 4 7 G 27/02 (2006.01)

【F I】

A 4 7 G 27/02 1 0 9

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 5 日 (2007.7.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マットであって：

ゴム製の基部層と織物製の上部層とを備え、前記基部層は上面と底面と深さ E とを有し、前記底面は複数の同じサイズおよび形状の円形の凹部を含み、前記複数の凹部の各凹部は垂直な側壁に囲まれた均一な深さ D を有することを特徴とし、前記深さ D は前記基部層の深さ E より小さく、空気の少なくとも一部が前記複数の凹部内から排出されかつ前記マットが面に係合する時、前記複数の凹部は吸引力を提供するマット。

【請求項 2】

請求項 1 記載のマットであって、前記ゴムは硬度が約 20 ～ 70 デュロメータであるマット。

【請求項 3】

請求項 1 記載のマットであって、前記基部層は EPDM および SBR からなる群より選択される材料製であるマット。

【請求項 4】

請求項 1 記載のマットであって、前記底面は滑らかであるマット。

【請求項 5】

請求項 1 記載のマットであって、前記深さ D は約 0.125 インチであり、前記深さ E は約 0.140 ～ 0.250 インチであるマット。

【請求項 6】

請求項 1 記載のマットであって、前記複数の凹部の各凹部は円筒状であり、直径が約 1 インチであるマット。

【請求項 7】

請求項 1 記載のマットであって、前記複数の凹部の各凹部は複数の列状に配置されるマット。

【請求項 8】

請求項 7 記載のマットであって、前記複数の凹部は前記列の最も外側の 2 列間で間隔 A、前記列の残りの列間で間隔 B を有するマット。

【請求項 9】

請求項 8 記載のマットであって、前記間隔 A は約 3 インチ、前記スペース B は約 6 イン

チであるマツト。